

平成26年3月4日

関係各位

公益財団法人 発達科学研究教育センター
理事長 新庄 茂方

平成26年度発達科学研究教育奨励賞—学術研究の部—の募集

公益財団法人 発達科学研究教育センター では若手研究者を対象とした平成26年度の研究助成事業である発達科学研究教育奨励賞—学術研究の部—を下記要領で募集致します。

対象となる研究テーマ

・ 幼少期の子どもの可能性を引き出し、心身の調和のとれた発達をはかることを主たる研究テーマとするもの。

応募資格

- ・ 同一の研究機関に属する個人、または数人の共同研究。
- ・ 平成26年4月1日現在40歳以下で、准教授職以下の方。
- ・ 所属研究機関の代表者または指導教授の推薦が必要です。

研究助成金

- ・ 1件当たり50万円を上限。10件位を予定。

募集期間

- ・ 平成26年4月1日（火）～平成26年6月2日（月）

応募必要書類

- ・ 研究計画書、推薦書など。
(詳細は、本財団ホームページ(<http://www.coder.or.jp>) をご参照下さい。)

参考（平成25年度受賞の研究テーマ：12件）

- ・注意欠陥/多動性障害、広汎性発達障害、及び合併症例の前頭葉機能評価
- ・新奇な環境における乳児の運動の多様性と変化可能性
 - 運動の時空間解析—
- ・マインドリーディングにおける現実バイアスの生起メカニズムの解明：
 - 幼児と成人の比較を通じて
- ・乳幼児における公平感の発達：眼球運動による検討
- ・発達障害を有する子どもの「食・食行動」の困難に関する発達支援研究
 - 発達障害の本人・当事者へのニーズ調査から—
- ・感情推測課題における視覚的注意の分析
 - 健常児と自閉症スペクトラム児の比較検討—
- ・子どものサイコパス特性と攻撃行動との関連
- ・自閉症スペクトラム障害児と定型発達児における、連合（ルール）学習時の行動上の違いとその原因の追及
- ・逆境経験へのレジリエンスを規定する要因の発達学的検討
- ・視線計測を用いた早産児における社会的認知機能の評価
- ・自閉症スペクトラムにおける「ブロップ障害仮説」の脳内基盤の検証：
 - 事象関連電位を用いた研究
- ・妊婦が抱く虐待不安の発生機序の検討

以上